

答 申 書

～ 留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について～

平成 2 1 年 1 月
留辺蘂まちづくり協議会

平成21年1月13日

北見市長 小 谷 每 彦 様

留辺蘂まちづくり協議会
会長 山 田 英 雄

留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成20年10月20日付けで諮問のありました自治区内事業の今後のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。

【答申にあたって】

留辺蘂まちづくり協議会は、平成20年10月20日、北見市が策定する総合計画前期基本計画等における「留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受けました。

これを受けて、まちづくり協議会では、新しい総合計画の基本構想で示された自治区ごとの整備方針に沿えるよう、地域課題や目指す将来像を確認しながら、特色ある自治区づくりを目指すため、留辺蘂らしさとは何かをテーマに協議を重ねてきました。

議論の進め方については、既に実施されている事業、及び実施計画で採択されている継続事業36件と第1次実施計画に新たに登載する予定の新規事業8件について担当から説明を受け、これに対する質疑を行い、さらに委員相互の意見交換を行い、事業の必要性、単に要求だけの提案をするのではなく、北見市の厳しい財政状況を勘案するとともに、事業それぞれの費用対効果などを検討しながら意見を取りまとめたところであります。

答申として述べた地域課題は、いずれも序列をつけがたいものがありますが、自治区として優先的に必要とする事業を明確に位置づけしております。

市長におかれましては、第1次実施計画事業等における留辺蘂自治区に関連する事業を実施するにあたって、本答申の主旨を十分に尊重されますとともに、下記の事項に配慮していただきますよう答申します。

記

1. 快適で過ごしやすい生活環境を創造することは、市民全ての願いであり、住みたいまちの条件でもあります。安全で安心して暮らすことができるよう、防災・消防、防犯、道路、生活基盤、産業や労働、子育て、育児、教育など市民生活の基礎を支えるための取り組みを期待します。
2. 産業の振興は、地域の活性化に欠かせません。恵まれた地域資源を積極的に活用し、産業基盤を強化するとともに雇用の場を確保し、地域の特性を生かした産業や産物を北見市の魅力として全国的な広がり結びつけていくことを期待します。
3. 国・地方を問わず厳しい財政状況のなか、限られた財源でよりよいまちづくりを実現していくためには、市民と行政がそれぞれの役割を再認識し、協力・連携した「協働」の姿勢が重要であります。

事業の実施にあたっては、主旨や内容をわかりやすい形で積極的に市民に周知し広く理解や協力を得るとともに、多くの市民の参画を求めながら事業に取り組まれるよう期待します。

4．市の行財政を取り巻く状況は、国の各種制度改革などにより大きく変わってきています。

これらの変化に対応し、限られた財源や人材を最大限有効に活用できるよう、既存の行政システムの見直しと財政の健全化を図り、コスト削減に努めながら、市民にとって真に必要なサービスを効果的・効率的に提供していくために、徹底した行財政改革を推進されますよう期待します。

5．これから整備を予定している施設については、市民の意向を反映するため企画立案段階から多くの市民の参画を求めるとともに、既存の施設も含めて、多くの市民が多角的に利用することができる機会づくりなど、ソフト事業にも工夫を凝らし有効に活用されることを期待します。

【留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について】

留辺蘂らしさについて

留辺蘂自治区は、無加川流域の肥沃な原野で営まれる農業と、豊かな森林資源を活かした林業・林産業、そして、温根湯温泉郷を核とした観光を中心に発展してきました。

農業では、作付面積日本一を誇る「白花豆」、林業・林産業では、国内有数の生産量を誇る「経木」のほか、間伐材を活用した集成材や木材加工品、クラフト製品、観光では、温根湯温泉郷を核として年間50万人の観光客が訪れ、オホーツク圏域の玄関口としての役割を果たしております。

今、地方を取り巻く経済情勢は依然として厳しい状況ではありますが、北見市にある豊かな資源を最大限に活かし、地域の歴史や文化、特性などを尊重し、機能を分担しながら北見市全体の均衡ある振興発展に努める必要があります。

まちづくり協議会では、留辺蘂自治区の歴史や文化、特性は何かをテーマに「留辺蘂らしさ」について確認しました。

- 1 旧留辺蘂町は、国民体育大会弓道競技の開催が決定した昭和56年に「福祉とスポーツの町」を宣言し、安心して楽しい生活ができる地域、社会づくりとスポーツを通じて健全な青少年の育成を願い、町民同士がその意義を確かめあいながらまちづくりを進めてきました。

福祉では、社会福祉協議会を中心に各ボランティア団体等の協力により地域の福祉活動が推進され、特に、大和地区・瑞穂地区では、ノーマライゼーションエリアの指定を受け、高齢者や障がいを持った人と健常者が共にノーマライゼーションの理念に基づきながら、地域ぐるみで行事やボランティア活動に取り組んできたところであります。

今後も、地域住民がお互いに協力しながら自治区全体で「福祉のまちづくり」を進めていくことが必要であります。

スポーツでは、恵まれた環境を活かし平成元年に「はまなす国体」の弓道競技、平成4年・平成20年6月には「全国選抜ゲートボール大会」を開催するなど、これまで数多くの全道・全国規模の大会を開催してきたところであります。

平成21年9月には「全国健康福祉祭ねんりんピック弓道交流大会」が留辺蘂自治区で開催されますが、市民と行政との協力・連携により、北見市全体として成功させなければならないものと考えます。

- 2 観光は、オホーツク圏域の西の玄関口という立地条件に恵まれ、明治32年の開湯から100余年を有する温根湯温泉郷を核に発展してきましたが、大型ホテルの廃業に伴いみやげ物店や飲食店の廃業などにより温泉街は、シャッター街化し、観光地としての景観を損ねている状況にあります。

温根湯温泉街再生整備計画に位置づけられている関連事業については、既に事業に着手しているものもありますが、留辺蘂自治区としても新市まちづくり計画

の「拠点事業」としての位置づけの中、協議会としても重点的に進めるべき事業として認識しており、温根湯温泉街に賑わいを取り戻すことを期待しているところであります。

基本目標 1 . 自然と共生する安全・安心のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

(温根湯温泉街再生整備関連事業)

まちづくり活動推進景観形成事業

○おんねゆ温泉つつじ公園整備事業

温根湯温泉街再生整備事業については、地域資源を活かした観光地として魅力ある温泉街形成を目指すため、地場産業の活用や観光施設など官民一体となった取組みを図る必要があると考えます。

おんねゆ温泉つつじ公園は毎年開催されている「つつじ祭り」をはじめ、道内外からのキャンプ等大勢の人に利用されていますが、トイレの水洗化については、公園利用者の観点から早急に改善する必要があると考えます。

基本目標 2 . 豊かな心と文化を育てるまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○留辺蘂図書館屋上屋根防水改修事業

留辺蘂図書館は幼児からお年寄りまで親しみのある施設として幅広く利用されており、読書を通じて心の豊かさを求め、学習や生活に必要な資料や情報を入手できる生涯学習の場として重要な役割を果たしています。

屋上屋根の補修については、貴重な図書資料を保全するためにも、早急に改善する必要があると考えます。

○八方台スキー場施設整備事業

八方台スキー場は、ファミリースキー場として整備され多くの市民に利用されてきましたが、近年では、合宿等の利用によりリフト運行者数も増加している状況であります。

自走式のファンタイプの人工降雪設備の導入により、ランニングコストの低減が図られるとともに、安定した人工降雪作業が可能となり、早期に開場することが可能となるため、合宿等の増加により経済効果が期待できるものと考えます。

また、観光協会等と連携を図りながら利用者の拡大を図るべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

○留辺蘂町中央公民館整備事業

○八方台スキー場索道施設整備事業

○旭運動公園テニスコート改修事業

基本目標 3 . 支えあい、一人ひとりを大切にすまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○保育園整備事業

保育園の整備については、保育計画に基づいて実施されることと思いますが、建設場所や施設規模について園児や保護者に十分配慮しながら進めるべきと考えます。

なお、地産地消の推進のためにも地元木材を活用した施設整備を考慮すべきものと考えます。

高齢者福祉センター（ことぶき会館）改修事業

ことぶき会館のトイレは水洗化されていない状況ですが、清潔で快適な環境づくりのため改善を行う必要があるため、早急に事業を実施すべきと考えます。

基本目標 4 . 活力を生み出す産業振興のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○平里地区担い手支援型畑総事業

担い手経営者の育成強化が急務となっている現在、畑地帯における営農用飲雑用水施設を整備し、担い手の強化を図るとともに地域の水不足を解消する事業は、最優先と考えます。継続事業として実施しており最優先に実施すべき事業と考えます。

○留辺薬温根湯地区担い手支援型畑総事業

担い手経営者の育成強化が急務となっている現在、畑地帯における担い手の強化を図るため、多様な営農形態にきめ細かく応じつつ、土地基盤整備を総合的にを行い、畑作物の生産の振興及び畑作経営の改善・安定を図ることは最優先の事業と考えます。

商業タウンマネジメント推進事業補助金

中心市街地は、地域それぞれの歴史や文化を凝縮した存在であります。空洞化が進む中心市街地の商店街の活性化を図り、地域の特色を生かした商店街づくりを今後とも進めていく必要があると考えます。

○留辺薬大通り商業活性化推進事業補助金

留辺薬地区中心市街地における商業活性化の全体計画である「留辺薬町中心市街地活性化計画」に基づき、具体的な事業を推進していく組織として位置づけられている（協）留辺薬商業振興会が行う事業を推進し、活性化を図るための支援をしていく必要があると考えます。

(温根湯温泉街再生整備関連事業)

- 農村公園(花のエリア)整備事業
- 農村公園(花のエリア)整備事業(2次拡張分)
- まちづくり活動推進講師派遣・研修事業
- まちづくり活動推進散策マップ作成事業
- まちづくり活動推進地場産品開発事業
- 湯の里めぐりレンタサイクル(社会実験)
- 3坪店舗催事イベント(社会実験)

山の水族館移転改築

温根湯温泉街再生整備事業については、地域資源を活かした観光地として魅力ある温泉街形成を目指すため、地場産業の活用や観光施設など官民一体となった取組みを図る必要があると考えます。

○からくりハト時計塔「果夢林」整備事業

からくりハト時計塔は、道の駅温根湯温泉の観光名所の一つとして重要な位置づけをもっています。

部品等の交換については、計画的に進めるべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

- 道営明渠排水事業留辺藪地区
- 滝の湯温泉泉源ポンプ整備事業

基本目標5 . 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

(温根湯温泉街再生整備関連事業)

- 2条橋周辺広場整備事業
- つつじ公園進入路改良事業
- 左岸道路改良・舗装
- 留辺藪町北17号線整備事業

○無加川河川改修に伴う関連事業(1条橋延長工事)

温根湯温泉街再生整備事業として、地元住民や観光客が楽しみ、憩いの場の提供及び観光施設を回遊する道路網の整備を図る必要があります。

留辺藪町営林署北通り道路整備事業

現在、この道路は普通河川が隣接しており、道路幅が狭くなっている状況ですので、河川廃止に伴い、計画的に整備を進めるべきと考えます。

留辺藪既設市営住宅塗装事業

市営住宅については、住宅の延命効果を考えると計画的に実施すべきと考えます。

○温根湯温泉地区簡易水道近代化推進事業

平成18年度からの継続事業として既に事業に着手しておりますが、水は、日々の生活に欠くことのできない「命」であります。安全で良質な水を安定的に供給するためには、年次計画に基づいて着実に事業を進めるべきと考えます。

金華浄水場施設整備事業

水は、日々の生活に欠くことのできない「命」であります。安全で良質な水を安定的に供給するためには、年次計画に基づいて着実に事業を進めるべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

- 留辺蘂町鉄南5号・10号通り道路整備事業
- 留辺蘂町温泉団地3・4・5号通り道路整備事業
- 3・4・5中央交通安全対策事業
- 留辺蘂町国体通り道路整備事業
- 留辺蘂町営林署南通り道路整備事業
- 留辺蘂旭団地市営住宅解体除却事業
- 留辺蘂地区公共下水道事業（污水管渠）
- 留辺蘂地区公共下水道事業（雨水管渠）
- 留辺蘂下水道管理センター整備事業
- 雪寒補助建設機械等更新事業

【早期に取り組むべき事業】

- 留辺蘂町留辺蘂訓子府線道路整備事業

基本目標6．市民とつくる信頼と協働のまちづくり

限られた財源でよりよいまちづくりを実現していくためには、市民と行政がそれぞれの役割を分担するなど協働の姿勢が重要です。留辺蘂自治区では、これまで自治会を中心に行政と市民による協働のまちづくりが進められてきましたが、今後においても、あらゆる分野で市民と行政が情報を共有し、協働しながら個性豊かなまちづくりを進めるべきと考えます。

【協議会の意見】

○自治区制度の今後のあり方について

合併による地域住民の不安を解消するため北見市独自の方式で、自治区設置条例を制定し、自治区制度、総合支所、まちづくり協議会をそれぞれに設置し、地域の歴史や文化、特性などを尊重し、それぞれの機能を分担しながら地域づくりを進めてきたところであります。

特に、まちづくり協議会については、初めての制度ということで戸惑いながら進んできたところですが、次の世代に少しでも住みよい自治区を残していきたい、との思いのなかで、これまで「自治区内事業の今後のあり方」と「防災対策に向けた地域内協働のあり方」についての諮問を受け、それぞれ答申をしたところであります。

平成18年6月に委嘱を受けた委員については、今年6月に2年間の任期を終えましたが、自治区制度を定着させるためには、これからの2年間で大事であるとの思いを引継いだところであり、委員構成も新たに精力的に活動しているところであります。

さて、平成18年3月に合併し3年目を迎えました。

合併後の北見市は、新市としての一体感を醸成することも求められており、住民参画と協働により地域の特性を活かした個性豊かな活力あるまちづくりを目指してきました。

新市としての一体感を醸成することと、コスト削減による取組みは勿論大事なことです。留辺蘂自治区で取り組まれてきた機能や個性的な地域づくりもしっかりと継承しなければなりません。

○今後の地域課題

- 1 昨年からはスタートしたまちづくりパワー支援事業は、まちづくり協議会が審査機関として関わり、自治区完結型の事業として、まちづくりへの住民参画と地域の活性化に効果が期待できる事業として評価しているところであります。
今後においては、自治区の住民と当協議会との協働によるまちづくりを推進するため、自治区長の裁量権で執行できる自治区予算の措置を講じ、多様化する市民のニーズに即応できるよう努めるべきと考えているところです。
- 2 留辺蘂自治区内は、留辺蘂市街地、温根湯市街地、大和地区、瑞穂地区に分かれておりますが、特に過疎化が進んでいる温根湯市街地、大和地区、瑞穂地区の公共施設を整備する際には、新たな市民ニーズへの対応や利便性の向上を考慮するとともに、幼児からお年寄りまであらゆる世代の人たちが利用することができるよう複合化施設として整備すべきと考えます。
- 3 留辺蘂自治区の水道施設は、留辺蘂地区は上水道、温根湯・滝の湯・瑞穂地区には簡易水道施設が整備されており、平里地区では、現在、道営事業により専用水道施設の整備が進められております。

今般、大和、平里地区の水道利用組合の水道水から相次いで大腸菌が検出されたことを受け、温根湯以西で同様に利用組合により設置されている松山・花丘・川北・大和・滝の湯地区からも、市の水道施設として早期に整備してほしいとの要望があります。

水は、日々の生活に欠くことのできないものであり、安全で良質な水を安定的に供給することが求められており、水道未普及地域の整備に向けて水道利用組合と連携しながら計画的な整備を進めるべきと考えます。

【留辺蘂まちづくり協議会開催状況】

- 第1回 日時 平成20年 4月22日(火)午後6時00分
場所 留辺蘂町中央公民館
審査 (1)まちづくりパワー支援事業の審査について
議題 (1)まちづくり協議会から推薦する委員
(北見市地域福祉計画策定委員)について
その他 (1)今後のまちづくり協議会について
- 第2回 日時 平成20年 6月10日(火)午後5時00分
場所 留辺蘂町中央公民館
議題 (1)今後のまちづくり協議会について
その他 (1)第3次実施計画について
(2)平成19年度まちづくりパワー支援事業について
- 第3回 日時 平成20年 6月18日(水)午後7時00分
場所 留辺蘂町中央公民館
議題 (1)会長・副会長の選出について
(2)まちづくり協議会から推薦する委員
(北見市地域福祉計画策定委員)について
報告 (1)北見市の都市再生について
(2)まちづくり協議会の役割について
(3)新市まちづくり計画の概要について
(4)第3次実施計画について
- 第4回 日時 平成20年 8月12日(火)午後6時00分
場所 留辺蘂町中央公民館
報告 (1)総合計画(基本構想)について
(2)正副会長会議について
議題 (1)運営委員の選任について
- 第5回 日時 平成20年 9月 9日(火)午後1時00分
場所 留辺蘂自治区内 事業予定箇所
議題 (1)留辺蘂自治区内現地視察
- 第6回 日時 平成20年10月20日(月)午後6時30分
場所 留辺蘂町中央公民館
報告 (1)北見市の都市再生について
北見市都市再生駅周辺地区基本計画(素案) -
(2)大和・平里地区水道利用組合水道水について
諮問 (1)自治区内事業の今後のあり方

- 議 題 (1) 自治区内事業の今後のあり方
- 第7回 日 時 平成20年10月27日(月)午後6時30分
場 所 留辺蘂町中央公民館
議 題 (1) 自治区内事業の今後のあり方について
- 第8回 日 時 平成20年11月11日(火)午後6時30分
場 所 留辺蘂町中央公民館
議 題 (1) 自治区内事業の今後のあり方について
- 第9回 日 時 平成20年11月25日(火)午後6時30分
場 所 留辺蘂町中央公民館
議 題 (1) 自治区内事業の今後のあり方について
- 第10回 日 時 平成20年12月 4日(木)午後6時30分
場 所 留辺蘂町中央公民館
議 題 (1) 自治区内事業の今後のあり方について
- 第11回 日 時 平成20年12月15日(月)午後6時30分
場 所 留辺蘂町中央公民館
報 告 (1) 総合計画(基本計画)について

留辺蘂自治区要望事業一覧

1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

(5) 快適な生活空間の整備

1	まちづくり活動推進景観形成事業 (温根湯再生)	郷土木苗代、客土、資材費等
2	おんねゆ温泉つつじ公園 整備事業	実施設計(トイレ水洗化)

2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

(2) 生涯学習の充実

3	留辺蘂中央公民館整備事業	中央公民館外壁改修(屋外階段裏塗装 49m ² 、外壁塗装 150m ² 、非常階段 タイル張 82m、ルーフトレン設備 一式)
4	留辺蘂図書館屋上屋根防水改修	屋上屋根防水シート処理 採光天窗水切り廻り、パネル廻り等のシーリング修理

(10) 生涯スポーツの振興

5	八方台スキー場施設整備事業	人工降雪機(油圧自走式ファンタイプ)購入 2台
6	八方台スキー場索道施設 整備事業	油圧緊張装置(シリンダー)点検整備、減速機点検整備 受索装置点検整備、電動機点検整備
7	旭運動公園テニスコート改修 事業	暗渠排水工事 照明設備移設工事

3. 支えあい・一人ひとりを大切にするまちづくり

(4) 児童福祉の充実

8	保育園整備事業	基本設計委託、実施設計
---	---------	-------------

(5) 高齢者福祉の充実

9	高齢者福祉センター (ことぶき会館)改修事業	トイレ水洗化工事(大便器 2基、小便器 1基、手洗い器 1基) 外部配管工事(Vu 100 L=53.80m、Vu 75 L=4.00m)
---	---------------------------	--

4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

(2) 地域特性を活かした農業の振興

10	平里地区担い手支援型畑総事業	取水施設 1箇所、配水管路 523m、電気・計装設備一式 【単独分】 20~40mm L=2,723m
11	留辺蘂・温根湯地区担い手 支援型畑総事業	農道調査設計 L=1,646m 農道(改良) L=1,646m
12	道営明渠排水事業 留辺蘂地区	道営事業計画樹立費一式

(6) 活気ある商業活動の促進

13	商業タウンマネジメント推進 事業補助金	商業TMO(留辺蘂商工会議所内)が実施する中心市街地活性化事業に対す る助成
14	留辺蘂大通り商業活性化推進 事業補助金	協同組合留辺蘂商業振興会に対する事業費補助

(7) 新たな観光資源の活用

15	滝の湯温泉泉源ポンプ整備事業	泉源2号井、3号井ポンプの整備
16	農村公園(花のエリア)整備事業(温泉街再生)	農村公園土壌改良及び花木植栽
17	農村公園(花のエリア)整備事業(2次拡張分)	用地取得、実施設計
18	まちづくり活動推進講師派遣・研修事業(温根湯再生)	専門家、アドバイザー等の講師謝礼
19	まちづくり活動推進散策マップ作成事業(温根湯再生)	散策マップ、観光パンフの作成
20	まちづくり活動推進地場産品開発事業(温根湯再生)	産品開発研究調査委託費
21	湯の里めぐりレンタサイクル(社会実験・温根湯再生)	レンタサイクル用自転車の借上、道の駅内施設整備、看板等の設置
22	3坪店舗催事イベント(社会実験・温根湯再生)	プレハブ借上費(5店舗分)、上下水道仮設配管、看板費、仮設トイレ費等
23	からくりハト時計塔「果夢林」整備事業	からくりハト時計塔「果夢林」の整備
24	山の水族館移転改築	実施設計

5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

(1) 機能的な都市空間の創出

25	2条橋周辺広場整備事業(温根湯温泉街再生)	広場整備(四阿、トイレ、足湯、モニュメント、景観施設)、支障物件解体
----	-----------------------	------------------------------------

(2) 道路網の整備

26	つつじ公園進入路改良事業(温泉街再生整備)	調査設計、用地買収、改良舗装工事
27	左岸道路改良・舗装(温泉街再生整備関連)	用地購入・支障物件補償、改良・舗装工事 橋梁上部・下部工事(汚水管・配水管・温泉管移設補償)、旧橋撤去工事
28	留辺薬町北17号線整備事業(温泉街再生整備)	拡幅改良・舗装工事
29	留辺薬町鉄南5号・10号通り道路整備事業	調査設計 L=200m、改良・舗装 L=200m W=5.5m
30	留辺薬町温泉団地3・4・5号通り道路整備事業	調査設計 L=260m、改良・舗装 L=260m W=5.5m
31	3・4・5中央交通安全対策事業	電柱架空型の照明灯の設置 21基
32	留辺薬町国体通り道路整備事業	調査設計 L=600m、歩道改築(舗装部のみ) L=600m×2、公共施設案内板1基、街路灯改築 11基(塗装・架空配線)、植樹 87本
33	留辺薬町留辺薬訓子府線道路整備事業	改良・舗装 L=420.96m W=6.0m
34	留辺薬町営林署南通り道路整備事業	調査設計 L=178m W=5.5m、改良・舗装 L=178m W=5.5m
35	無加川河川改修に伴う関連事業(1条橋延長工事)	基本調査設計、実施設計、橋梁工事
36	留辺薬町営林署北通り道路整備事業	調査設計 L=150m、改良・舗装 L=150m W=7.27m

(4) 良好な住宅・住環境の創出

37	留辺蘂旭団地市営住宅解体除却事業	昭和42・45年建設住宅・簡易耐火構造平屋建4棟16戸の解体除去工事、移転助成費
38	留辺蘂既設市営住宅塗装事業	既設公営住宅屋根および外壁塗装工事(昭和57・58建設 第2松山団地4棟8戸、昭和63・平成元年建設 上町団地8棟16戸)

(5) 水道の安定供給と下水道の整備

39	温根湯温泉地区簡易水道近代化推進事業	配水管布設替実施設計委託 配水管布設替工事、取水施設整備、浄水場施設整備
40	金華浄水場施設整備事業	水質計器更新(原水濁度・PH計、浄水PH計・色度計、残留塩素計) 沈殿池・フロック形成池防水補修(3系統)
41	留辺蘂地区公共下水道事業(汚水管渠)	汚水管整備 200 L=40m、公共汚水樹設置
42	留辺蘂地区公共下水道事業(雨水管渠)	実施設計 雨水枝線整備 300～1,000 L=940m
43	留辺蘂下水道管理センター整備事業	設備台帳データベース化(土木設備27件、建築設備85件、建築機械92件、建築電気146件、機械設備78件、電気設備56件) 汚泥脱水機改修(延命化) 下水処理施設長寿命化計画策定(水処理、汚泥処理電気設備更新 流量計2台、レベル計 4台、DO計 1台) 3系列ばっ気装置改修(延命化) 管理棟・管廊耐震補強実施設計

(6) 除排雪体制の強化

44	雪寒補助建設機械等更新事業	除雪ドーザー更新 1台、除雪グレーダー更新 1台
----	---------------	--------------------------

【留辺薬まちづくり協議会委員】

[委嘱期間H20.6.14~H22.6.13]

	氏 名
委 員	飯 田 仁 美
委 員	石 井 加代子
委 員	遠 藤 登志子
委 員	大 江 友 広
委 員	大 野 いづ美
委 員	笠 原 信 廣
委 員	加 藤 昭 義
委 員	澤 山 一 之
委 員	菅 波 正 樹
委 員	菅 原 精 一
委 員	古 田 亜由美
○副 会 長	前 田 彰 壽
委 員	松 山 美江子
委 員	森 幸 男
会 長	山 田 英 雄

50音順